

2023年大田区長選挙ネット討論会 各候補者政策比較表

区政に対する基本的な考え方

もり 愛

岡 高志

鈴木 あきまさ

めざすべき将来像

こどもは未来！本気の子育て支援で子ども達の笑顔が輝く大田区
「対話」を活かしたまちづくりを進め、区民が主役の区政を目指します
誰もが暮らしやすい、地域医療・福祉、公的支援の充実
働く人が報われるまちづくりを進め、若者が夢と希望を持ちわくわくする大田区
環境と平和を守り持続可能な大田区を築いて参ります。

無駄遣いをやめてみんなが豊かな大田区をつくれます。
区役所は区民のみなさまの税金を十分に活用できず余らせてただ溜め込んでいます。
区民のみなさまの手に税金を取り戻して、区民のみなさまにより大田区の地域の活性化を図る。区長としてそのお手伝いをします。

笑顔とあたたかさあふれる大田区政を創るため、「子育て・教育の充実」「大田区ブランドの向上」「防災力の強化」、人生100年時代に向けた「医療・福祉の質の向上」「健康寿命の延伸」などを実現する。また、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる安全な大田区」と新たな人々に「選ばれる大田区」を実現する。

現状認識

コロナ禍0歳から4歳の子どもをもつ子育て世帯が大田区から流出。
CO2排出量が、23区ワースト2位の現状
高度成長期を支えた町工場が1万社から3千社代6割減少
公民連携で大企業との連携を進め、指定管理や民間委託公共サービスを切り売りし区民の声が届いていない

現職区長が16年つとめた結果、区役所組織は停滞している。コロナ禍においても何もしない区役所という印象が強い。新空港線・蒲蒲線については、東急電鉄のための多摩川線延伸案という要素が濃く、区民が置いていかれている。
現職区長の加齢とともに、区役所が重点を置く世代も上がっていていると感じる。

原材料価格の上昇や円安の影響による物価高騰など喫緊の課題への対応を強化する必要がある。加えて、コロナ禍で急激に進行した少子化は、予想を上回るペースで進む危機的な状況であること、気候変動に伴う気象災害のリスクが更に高まっていることなど、中長期的な観点から立ち向かうべき課題は山積している。

解決したい課題

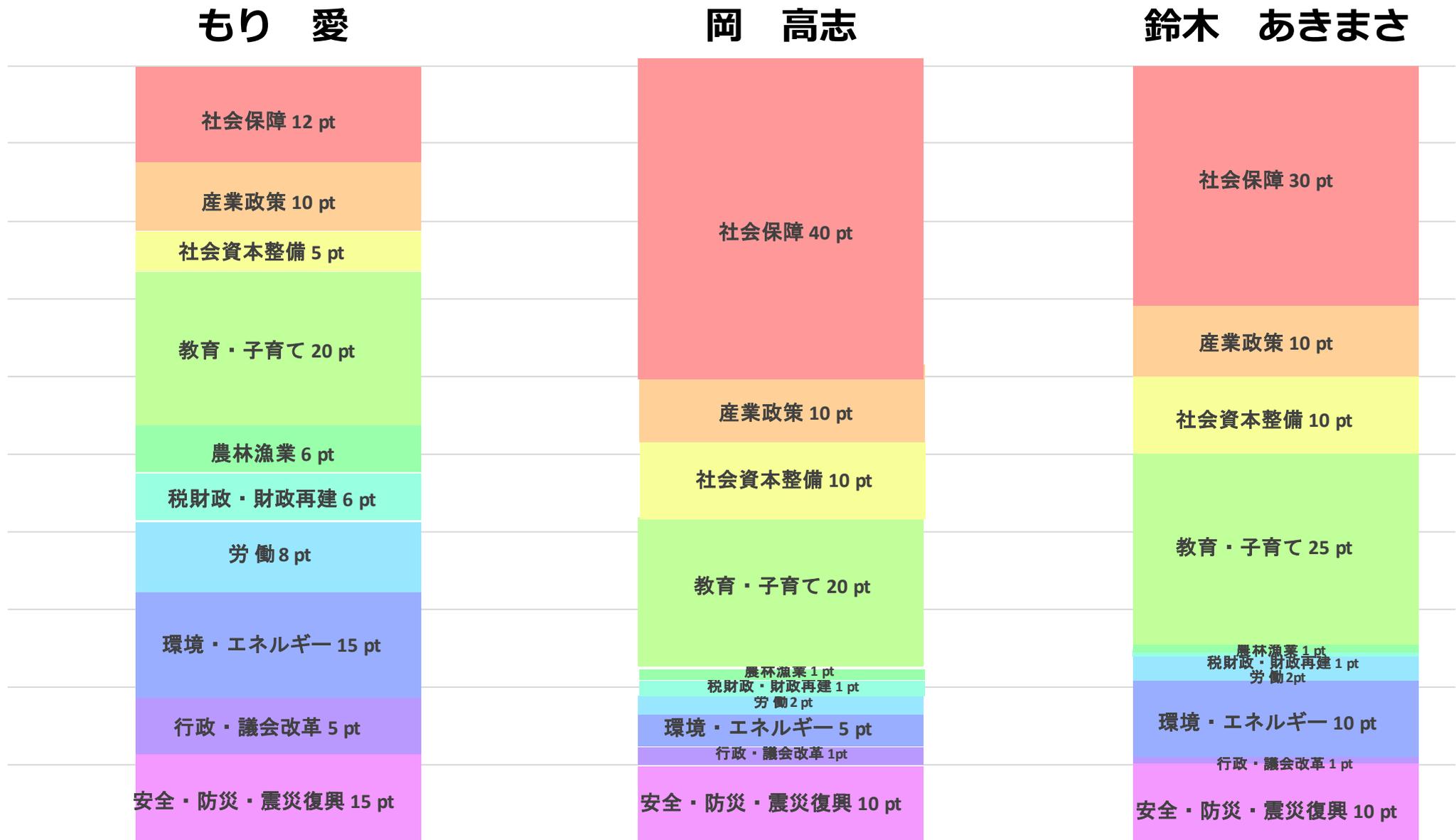
区民と対話する区政へ、命と暮らしに寄り添う大田区、公共を取り戻す
制度と制度のはざままで困っている人に光を当て、血の通った区政へ
少子化、こどもの貧困、ヤングケアラー、障がい者福祉、温暖化対策、産業集積の維持、区民の声が届いていない現状に区民との対話で誰一人取り残さない大田区を築きたい

区の行政がもっと住民に寄り添えるためにDXを推進したい。
広聴の部分で、私が選挙活動に使用しているようにLINEチャットボットを深化させる。
保育所入所手続、福祉団体などの年次報告をオンライン申請とし、区役所のデータ処理を省力化するとともに、余った人材で必要なところへハンズオン支援を実施。

区民の健康維持増進や新たな感染症対策、自然災害への備え、物価高騰に対する生活支援、子育て世帯の流出対策、区内産業を支えるための経済支援、脱炭素化の推進、子育て家庭の孤立化や未来を担う子どもたちを支えるなど学びの保障や子どもの生活応援、多様化するニーズに対応するための自治体経営へのシフトなど。

2023年大田区長選挙ネット討論会 各候補者政策比較表

政策分野注力度（予算を100ポイント持っているとしたときの、各分野への配分度）



※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2023年4月17日現在で作成しました

2023年大田区長選挙ネット討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野注力度」の中から選択）

もり 愛

岡 高志

鈴木 あきまさ

政策

こどもは未来! 本気の子育て支援

しっかりします社会保障

子育て・教育を充実し、子育て世代に選ばれる「おおた」を実現

分野

教育・子育て

社会保障分野

教育・子育て
社会資本整備

期限

4年

4年

10年

数値
目標

未回答
予算：予算の拡充

大田区の一人当たり医療費を23区で最善とする。
予算：区長就任後に精査

合計特殊出生率1.2以上
若い世代の定住意向80%
予算：2000億円以上

手段

未来への最大の投資は、ひと。こどもは未来そのものです！先進国でこども予算が少ない日本、保育・教育への徹底投資で、学校給食の無償化はもちろん、小1の壁の解消、学童の待機時対策、学童への配食サービス、一時預かり充実、安心できる居場所づくり、校内フリースクール、不登校の子の学び場づくり、給付型奨学金の拡充

国民健康保険や介護保険の運用を適正化し社会保険料を1円でも抑えていく。
データヘルスを推進し、区民の健康を守る。健康診断の実施を促進するために、健康ポイントも配布する。
歩きやすい・運動しやすいまちづくりも行い、全体としての健康都市をつくる。ここでもデジタル地域通貨に換金できる健康ポイントを配布。

1.産後ケア、在住子育て訪問、大田区版「子育て拠点」を新設するなど、共働き世帯、ひとり親家庭、在宅子育て家庭など、多様な子育ての形を切れ目なく支援します 2.児童相談所、一時保護所の新設、虐待児童への支援体制を再構築するなど、子どもが安心して過ごせる場所を増やします3.特色ある教育やグローバルコミュニケーション教育を推進するなど、誰一人取り残さない教育先進都市「おおた」を実現します

2023年大田区長選挙ネット討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野注力度」の中から選択）

もり 愛

岡 高志

鈴木 あきまさ

政策

環境と平和を守り持続可能なまちづくり

子どもの貧困対策と格差是正のため、教育の底上げ

「おおた」の「都市力」「魅力」を向上

分野

環境・エネルギー

教育・子育て

安全・防災・震災復興
教育・子育て 社会資本整備

期限

4年

2年

10年

数値
目標

未回答
予算：予算の拡充

中学校の評定平均下位校を上げる
予算：区長就任後に精査

主要駅における年間乗車数110,000千人
予算：300億円程度

手段

大田区はCO2排出量が、23区ワースト2位の現状があり、温暖化対策は喫緊の課題
廃プラ対策、気候変動対策市民会議を設置し区民と共に持続可能な環境都市大田区を
健康にも環境にも良い自転車のまちづくり。呑川の抜本的な水質改善、区民と共に木を植えるMYツリー緑化プロジェクト
大田区の中小企業とも連携した再エネの推進

子どもの貧困・教育格差は大田区の社会問題であり、公教育の質の向上を行います。中学校の評定平均下位校に対して、重点的に校長先生や実績ある教員を配置します。子どもへ朝食無料、自習室無償、補習室無料、3つの無料も重点実施。メリハリある施策で、下位校を入れ替えます。

- 1.新空港線の整備を契機とした沿線地区のまちづくりを進め、便利で賑わいのあるまちを作ります
- 2.民間の活力を活かし、スポーツ、健康、子育て、防災等、多様な機能を有する都市公園を整備するなど、安らぎと潤いのある空間を街中に創出します
- 3.地震や風水害に強いまちづくりを計画的に推進し、防災力を強化し、多発する自然災害(震災、風水害)に立ち向かいます

2023年大田区長選挙ネット討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野注力度」の中から選択）

もり 愛

岡 高志

鈴木 あきまさ

政策

誰もが暮らしやすいまちづくり

活力ある産業都市を支援

成長戦略で経済と環境が両立する持続可能な
「おおた」

分野

社会保障
安全・防災・震災復興

産業政策

産業政策
環境・エネルギー

期限

4年

1年

令和12年度

数値
目標

未回答
予算：予算の拡充

域内消費率 2.5ポイント改善
予算：100億円

温室効果ガス排出量50%減(平成25年度比)
予算：370億円程度

手段

誰もが暮らしやすいまちづくり、住まいは権利！
安心できる住宅セーフティネットの拡充
高齢者・障害者へのきめ細やかな支援、福祉を支える人材の育成と処遇改善。障害のある方の自立支援と社会参加、多様な働き方を応援
差別の無いジェンダー平等。命と暮らしを守る防災対策・福祉避難所の整備、要援護者の個別避難支援

大田区では、民間消費の流出は6,000億円と流出率が25%にもなる。域内消費を高めるべくデジタル地域通貨を導入。財源は、毎年余っている税金100億円。20%プレミアム商品券方式で、600億円の消費喚起効果。まずは流出率が22.5%、すなわち域内消費率77.5%を目指す。その中で、地域の商店の魅力が向上し、外部からの消費流入増加も期待。

ものづくりのまち「おおた」が誇る技術力から稼げる力を創出し、未来へと繋げるまちを実現し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた環境都市を構築するなど、経済と環境が両立する持続可能な街を目指す 1.区民一人ひとりの脱炭素型ライフスタイルへの転換を促進するなど、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた持続可能なまちを実現する 2.成長産業を支える企業ネットワークの構築など、区の技術とブランド力を育み、経済活力を目指します 3.HICityで新たな産業やサービスを創出、区内外に発信するなど都市間連携を活用して大田区ブランドを向上し、内外に発信します